

ULVAC

【証券コード：6728】

第120回 定時株主総会

2024年9月27日
株式会社 アルバック

議事運営についての お願い

監査報告書

- 会計監査人の監査報告
(連結計算書類・計算書類)
- 監査役会の監査報告

第120期事業報告

数値：億円単位
(小数点以下は四捨五入)

1.企業集団の現況

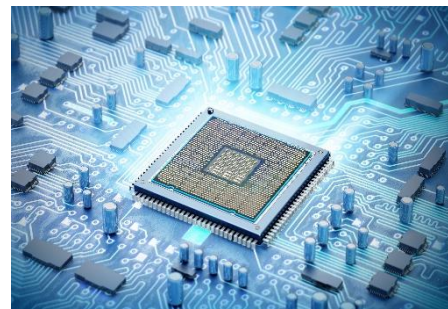
(1) 当事業年度の事業の状況

①事業の経過及び成果 ～世界経済の状況～

- 穏やかな回復基調で推移しました。
- 欧米における高い金利水準の継続や中国における景気減速懸念に伴う海外景気の下振れリスクが意識される等、先行きに対する不透明感が高まりました。

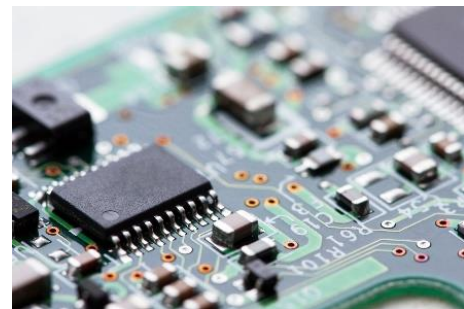
■ 半導体業界

- 半導体業界では、スマートフォンやパソコン等の需要減速に伴う短期的な半導体メーカーの設備投資の鈍化がみられます。
- 中長期的には、生成AIへの期待等による半導体需要拡大が引き続き見込まれるとともに、地政学的リスク等に対応した世界各地での半導体工場の新増設計画が進められています。



■ エレクトロニクス業界

- グリーンエネルギー政策等に基づくEV導入促進政策の継続的な進展等に伴うパワーデバイス投資、スマート社会化構想等に基づくデジタル化の促進やメタバースの実現等に向けた各種電子デバイスの技術革新や増産のための投資、中国におけるエレクトロニクスの国産化政策に基づく投資等の拡大が継続しています。



① 事業の経過及び成果 ～事業環境～

■ フラットパネルディスプレイ業界

- タブレットやパソコン用のITパネルが液晶から有機ELへ転換する過渡期にあり、大型基板の有機EL投資が引き続き期待されます。



■ 産業用電池業界

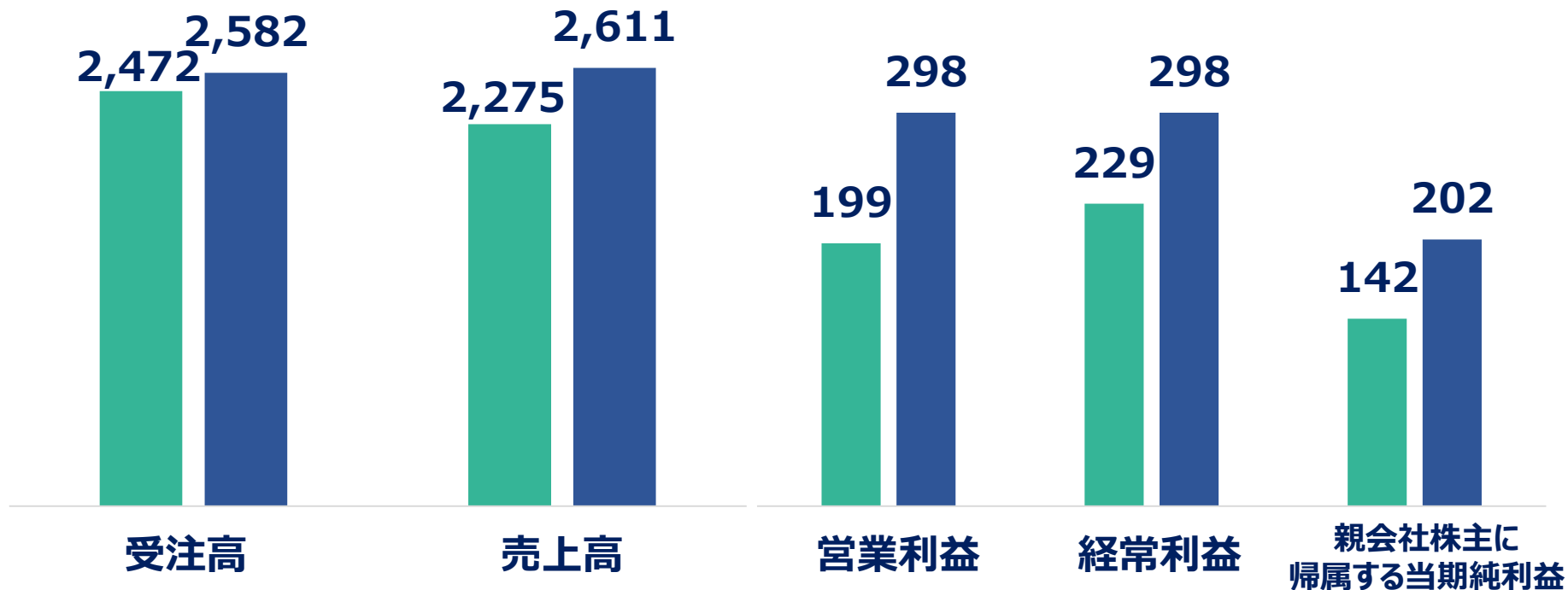
- EVバッテリーの小型大容量化や安全性向上の実現に向けた量産投資の本格化の兆候が引き続き認められています。



①事業の経過及び成果 ～第120期業績（連結）～

【単位：億円】

■ 119期 ■ 120期



①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

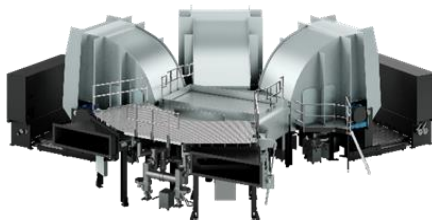
真空機器事業

■ FPD製造装置

- ITパネル用液晶ディスプレイ製造装置に関する投資は一段落
- EVバッテリーの小型大容量化や安全性が向上したことによる量産投資が本格化

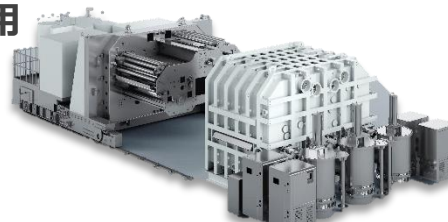
⇒受注高は前年度並み、売上高は前年度を上回りました。

ディスプレイ製造用



枚葉型スパッタリング装置 (G8.7)

バッテリーCCC製造用



両面蒸着巻取装置

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空機器事業

■ 半導体及び電子部品製造装置

- 半導体製造装置は、先端ロジック及びメモリの投資が当連結会計年度の下期より回復
 - 電子部品製造装置は、パワーデバイスの投資が活発化
- ⇒受注高・売上高ともに前年度を上回りました。

半導体製造用



スパッタリング装置

電子部品製造用



イオン注入装置



スパッタリング装置

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空機器事業

■ コンポーネント

- EV用バッテリーや家電製品向けリークテスト装置等が好調に推移
⇒受注高・売上高ともに前年度を上回りました。

■ 一般産業用装置

- 高機能磁石製造装置や医療用凍結乾燥装置等が好調に推移
⇒受注高・売上高ともに前年度を上回りました。

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空機器事業

【単位：億円】	受注高	売上高	営業利益	受注残高
真空機器事業	2,072	2,123	261	1,260
真空応用事業	510	488	36	190
合計	2,582	2,611	298	1,450

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空応用事業

■ 材料

- FPD関連の工場稼働率の回復等
⇒**受注高・売上高ともに前年度を上回りました。**

■ その他

- 表面分析機器関連の**受注高は前年度を下回りました。**
- 高精細・高機能ディスプレイ向けマスク blanks 関連等が好調に推移し、**売上高は前年度を上回りました。**

①事業の経過及び成果 ～事業区分別～

真空応用事業

【単位：億円】	受注高	売上高	営業利益	受注残高
真空機器事業	2,072	2,123	261	1,260
真空応用事業	510	488	36	190
合計	2,582	2,611	298	1,450

②設備投資の状況

設備投資の総額：215億円

【真空機器事業】 196億円

半導体及び電子部品製造装置、FPD製造装置の評価用機械装置や研究開発用機械装置等

【真空応用事業】 20億円

材料関連の生産用設備等

③ 資金調達の状況

■ 新株式の発行等による資金調達

- 当連結会計年度は行っておりません。

■ 借入金総額：468億円

1.企業集団の現況

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

1.企業集団の現況

(3) 重要な子会社等の状況

1.企業集団の現況

(4) 対処すべき課題

後ほど、ご報告いたします。

1.企業集団の現況

(5) 主要な事業内容

(6) 主要な営業所及び工場

(7) 従業員の状況

(8) 主要な借入先の状況

2. 会社の現況

- (1) 株式の状況
- (2) 新株予約権等の状況
- (3) 会社役員者の状況
- (4) 会計監査人の状況
- (5) 業務の適正を確保するための体制
及び当該体制の運用状況

連結計算書類及び 計算書類の概要のご報告

数値：億円単位
(小数点以下は四捨五入)

連結計算書類

招集ご通知**46~48**ページをご覧ください

計算書類（当社単体）

招集ご通知**49~51**ページをご覧ください

連結計算書類

【資産の部】

(単位：億円)	第119期	第120期	増減
流動資産	2,553	2,789	+236
固定資産	982	1,098	+116
有形固定資産	696	797	+102
無形固定資産	43	54	+11
投資その他の資産	243	247	+4
資産合計	3,535	3,887	+352



注：記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計が一致しない場合があります。

【資産の部：主な変動要因】

- » 現金及び預金 △21億円
- » 受取手形、売掛金及び契約資産 +197億円
- » 棚卸資産 +75億円
- » 有形固定資産 +102億円

【負債・純資産の部】

(単位：億円)	第119期	第120期	増減
負債合計	1,486	1,609	+123
流動負債	1,068	1,164	+96
固定負債	419	445	+27
純資産合計	2,049	2,277	+229
負債純資産合計	3,535	3,887	+352

注：記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計が一致しない場合があります。

【負債の部：主な変動要因】

- » 契約負債 39億円
- » 長期借入金 37億円
- » 賞与引当金 19億円

【純資産の部：主な変動要因】

- » 利益剰余金 149億円
- » 為替換算調整勘定 60億円

(単位：億円)	第119期	第120期	増減
売上高	2,275	2,611	+336
営業利益	199	298	+98
経常利益	229	298	+69
親会社株主に 帰属する 当期純利益	142	202	+61

注：記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の増減が一致しない場合があります。

連結株主資本等変動計算書 について

招集ご通知**48ページ**をご覧ください

計算書類（当社単体）

(単位：億円)	第119期	第120期	増減
(資産の部)			
流動資産	1,521	1,618	+97
固定資産	797	863	+66
資産合計	2,318	2,481	+163
(負債の部)			
流動負債	671	695	+24
固定負債	315	365	+50
負債合計	986	1,060	+74
(純資産の部)			
株主資本	1,312	1,403	+91
評価・換算差額等	20	18	-1
純資産合計	1,332	1,421	+90
負債純資産合計	2,318	2,481	+163

注：記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計が一致しない場合があります。

(単位：億円)	第119期	第120期	増減
売上高	943	1,082	+139
営業利益	8	53	+45
経常利益	122	157	+35
当期純利益	123	144	+20

注：記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の増減が一致しない場合があります。

株主資本等変動計算書 について

招集ご通知**51ページ**をご覧ください

1.企業集団の現況

(4) 対処すべき課題

招集ご通知**25ページ**をご覧ください

経営基本理念

**アルバックグループは互いに協力・連携し、
真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、
産業と科学の発展に貢献することを目指す**

(4) 対処すべき課題 ～サステナビリティ方針～

サステナビリティ方針

「真空技術及びその周辺技術の総合利用により、**経済価値、社会価値、環境価値**を創造する」



- 環境負荷の低減や健康と幸せの創造により適正な利潤を追求
- 気候危機や資源不足など地球の持続可能性を脅かす環境問題の解決に向けての取組みも推進

(4) 対処すべき課題 ～マテリアリティ～

— Vision 2032 —

未来につながる「可能性の場」であり続ける

— マテリアリティ —

- **真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進**
- **多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり**
- **バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動**
- **持続可能な地球環境への貢献**

(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

< 基本方針 >

真空技術による社会的価値創造

利益・資本効率重視の経営

重点戦略

ポイント

① 成長事業における製品競争力の強化

- > 共創によるイノベーションの推進
- > 半導体・電子装置事業の拡大
- > カスタマーサービス事業の強化

② グローバル生産性の向上

- > モノづくり力強化
- > デジタル化の推進

③ 経営基盤の強化

- > ESG経営の強化
- > 財務基盤の強化・CFマネジメントの強化
- > 人財経営の推進

(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

1. 成長事業における製品競争力の強化

① 共創によるイノベーションの推進

- 各分野における世界のリーディング企業、大学等との最先端技術の共同開発を推進
- 技術革新に対応した製品開発力を強化
- グローバル開発体制の強化

(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

1. 成長事業における製品競争力の強化

② 半導体及び電子部品事業の拡大

<半導体>

- 先端ロジックの実績をもとに、メモリー及びレガシー半導体分野でも更なる拡販活動を強化

<電子部品>

- 主要5分野（パワーデバイス、オプトデバイス、通信デバイス、電子部品、実装）で更なる拡販活動を強化

(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

1. 成長事業における製品競争力の強化

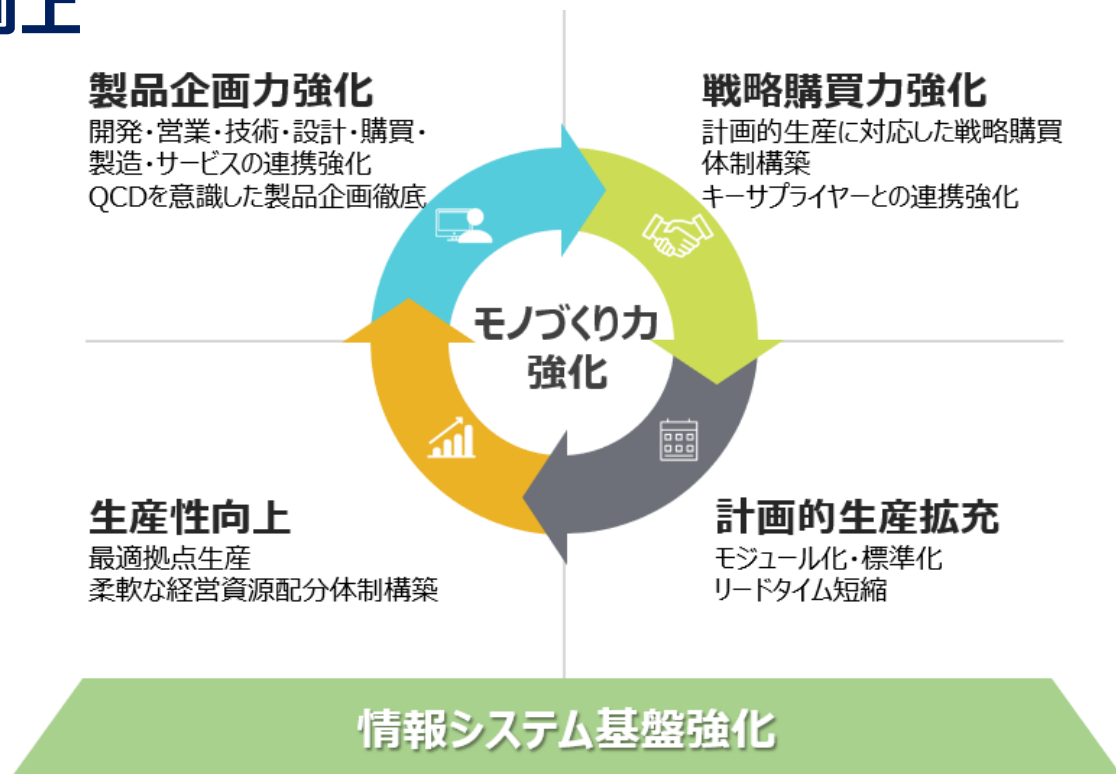
③ カスタマーサービス事業の強化

- 製品ライフサイクル全体をカバーすることを当社グループにおけるビジネス機会と捉える
- 特に注力すべき地域におけるサポート体制の強化や当社グループから顧客に対する提案型での既存装置の改良や改善といったビジネスの推進を目指す

(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

2. グローバル生産性の向上

- ① モノづくり力強化
- ② デジタル化の推進



(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

3. 経営基盤の強化

① ESG経営の強化

- CO2排出の削減、気候危機等の社会的課題の解決に貢献する環境配慮型製品の更なる開発と拡販
- 人権に配慮した事業運営についての理解の共有、労働環境をはじめとする人権尊重の推進の更なる実現
- 実効性、透明性の高い経営体制の強化に最適な見直しに継続的に取り組むことにより、コーポレートガバナンス体制の更なる維持強化

(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

3. 経営基盤の強化

② 財務基盤の強化・CFマネジメントの強化

- 当社グループの更なる成長に向けた十分な開発投資資金を確保し、当社事業をとりまく外部環境変化への迅速な対応を実現する強固な財務基盤の構築
- キャッシュ・フローマネジメントの更なる強化

(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

3. 経営基盤の強化

③ 人財経営の推進

- 多様な人財が活躍できる環境を整備
- 従業員エンゲージメントを高めるとともに、次世代リーダーとなる中核人財の育成プログラムを再構築

(4) 対処すべき課題 ～中期経営計画～

<ご参考>

	2026/6期 目標	2024/6期 実績
売上高	3,000億円	2,611億円
売上総利益率	35%	30.9%
営業利益率	16%	11.4%
ROE	14%	9.7%
営業CF (3年間累計)	630億円	172億円 (初年度実績)

**株主の皆様におかれましては、
より一層のご理解とご支援を賜りたく
お願い申し上げます。**

議案の上程

第1号議案 剰余金の処分の件

■ 期末配当

1株につき金**144**円といたしたく存じます。

第2号議案 取締役6名選任の件 [取締役候補者]

いわした

岩下

せつ お

節生

あお き

青木

さだ お

貞男

にし

西

うち だ

内田

いし だ

石田

なか じま

中島

ひろ ゆき

啓介

のり お

憲男

こう ぞう

耕三

よし み

好美

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

第3号議案 補欠監査役1名選任の件
[補欠監査役候補者]

よし ざわ かず し

吉澤 知志

補欠社外監査役

独立役員

報告事項、決議事項の 質疑応答

- 一問一答方式でお願いいたします。
- ご質問の前に、出席番号をおっしゃってください。
- ご質問後、ご着席をお願いいたします。

決議事項の議案の採決

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 取締役6名選任の件

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

第1号議案 剰余金の処分の件

■ 期末配当

1株につき金**144**円といたしたく存じます。

第2号議案 取締役6名選任の件 [取締役候補者]

いわした

岩下

あおき

青木

せつ お

節生

さだ お

貞男

にし

西

うち だ

内田

いし だ

石田

なか じま

中島

ひろ ゆき

啓介

のり お

憲男

こう ぞう

耕三

よし み

好美

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

社外取締役

独立役員

第3号議案 補欠監査役1名選任の件 [補欠監査役候補者]

よし ざわ かず し
吉澤 知志

補欠社外監査役

独立役員

本日は、誠に ありがとうございました。

将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。